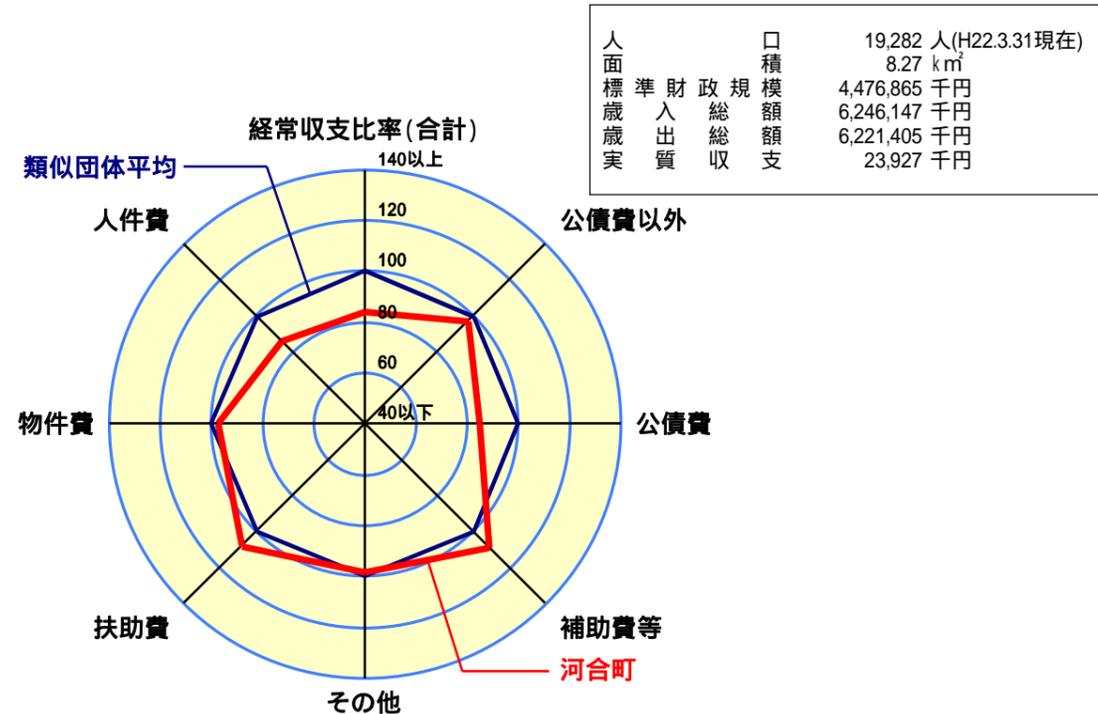
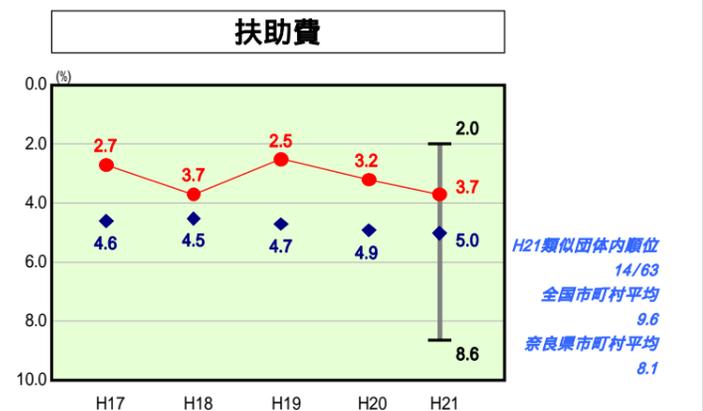
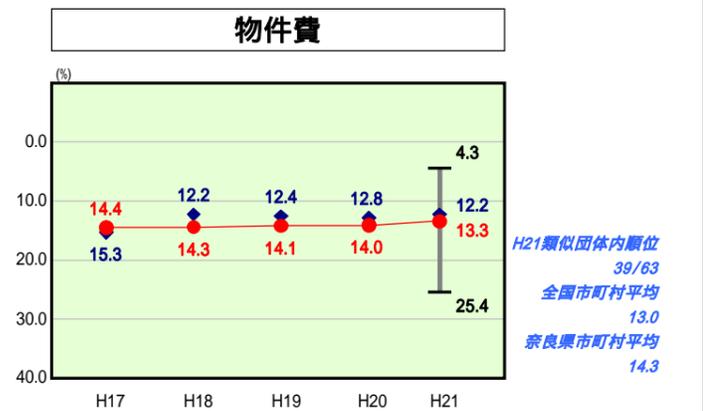
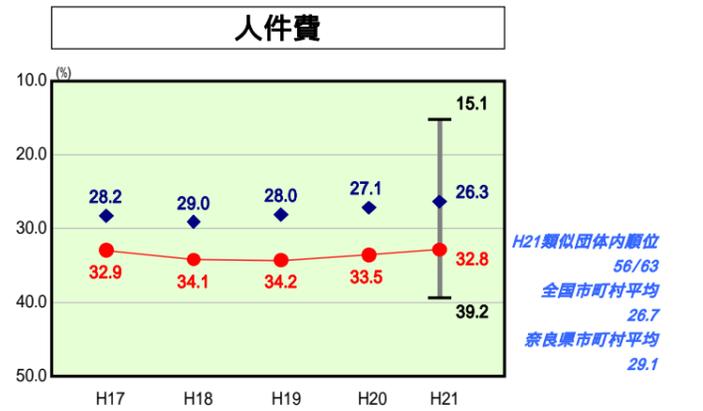
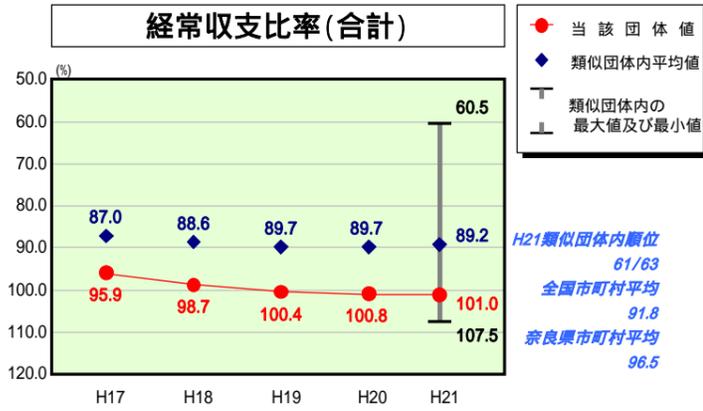


# 歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析



人口	19,282 人(H22.3.31現在)
面積	8.27 km <sup>2</sup>
標準財政規模	4,476,865 千円
歳入総額	6,246,147 千円
歳出総額	6,221,405 千円
実質収支	23,927 千円

- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

・経常収支比率(合計)  
平成21年度は類似団体平均より11.8%高く、対前年度0.2%比率が増加している。その要因として、健全化の努力により、経常的な歳出充当一般財源は対前年度 131百万円の減額となったが、景気低迷などの影響で経常一般財源収入(臨時財政対策債、減収補てん債含む)が対前年度 141百万円の減額となった。今後も比率の減少を目指すため、健全化計画以上の成果をあげることに努める。

・人件費  
保育所を運営しているため、前年度まで民生部門の職員が他団体より多く、類似団体平均を上回っていたが、積極的に早期退職者を募り、欠員補充を停止するなど人件費の削減に努めてきた結果、平成21年度は類似団体平均を下回っている。今後も削減目標を立て、定員の適正化に努めていく。

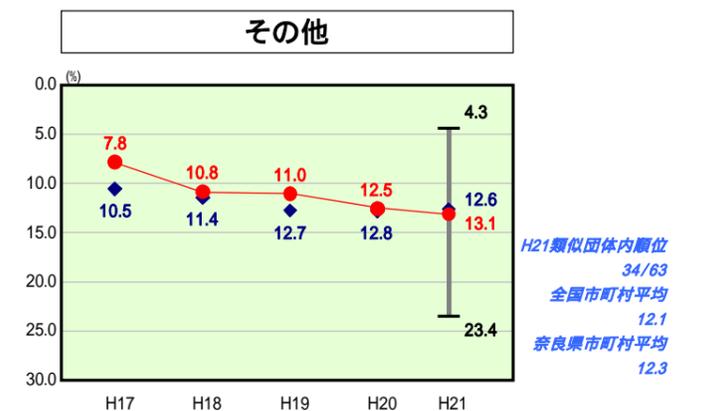
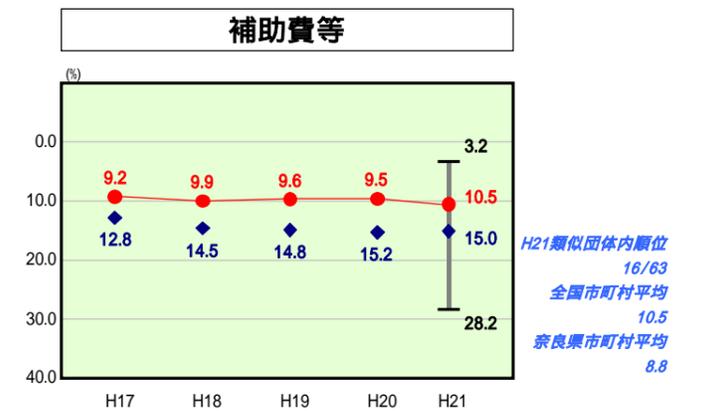
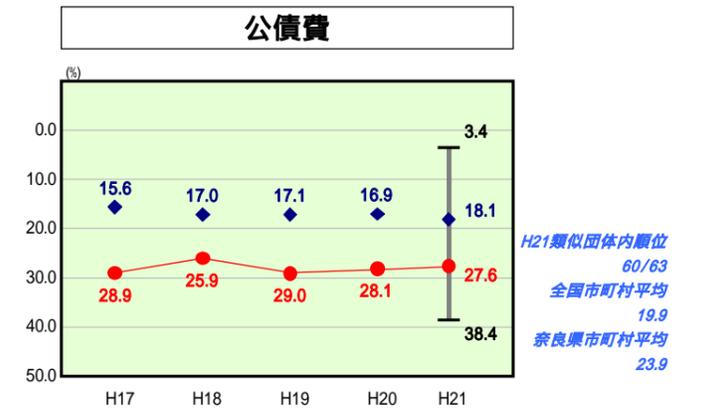
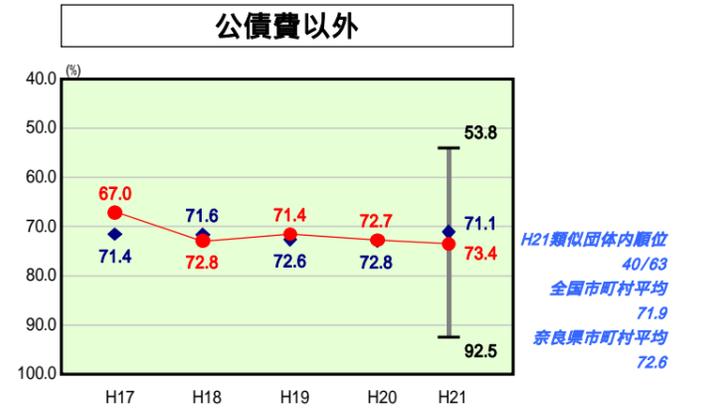
・物件費  
平成17年度から健全化計画に取り組んできたため、平成17年度で一度は類似団体平均を下回ったが、平成18年度以降は若干上回っている。今後も、健全化計画以上の成果、当初予算での一律削減、予算執行での配当留保等徹底した歳出抑制に努めていく。

・扶助費  
健全化計画などにおいて町単独事業の見直しなどを実施したことにより、類似団体平均を下回っている。

・公債費  
平成元年度以降の大規模事業を計画的に実施してきたため、公債費に係る経常収支比率は、類似団体と比較して1.7%上回っている。しかし、本町は過去から交付税算入などの有利な地方債を発行してきた結果、平成21年度公債費比率20.5%に対して起債制限比率は14.9%に留まっている。

・補助費等  
補助費のうち47%が定額給付金等による補助交付金、46%が一部事務組合に対する負担金であり、補助金については個々にその意義や目的・成果などを精査し見直しを行ってきた。また、負担金については、行政運営に支障をきたすものを除き、廃止または休止を検討した。その結果、類似団体平均をかなり下回っている。

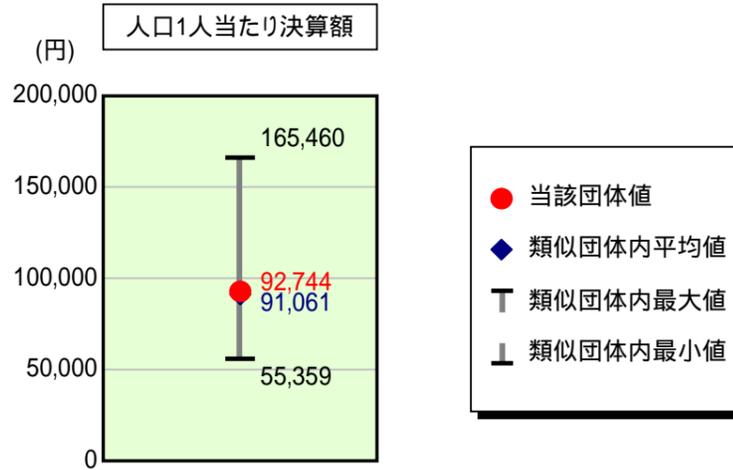
・普通建設事業費  
各事業整理縮小を図りながら、緊急を要する事業のみを実施しているため、類似団体平均を大きく下回っている。



# 歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

奈良県 河合町

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



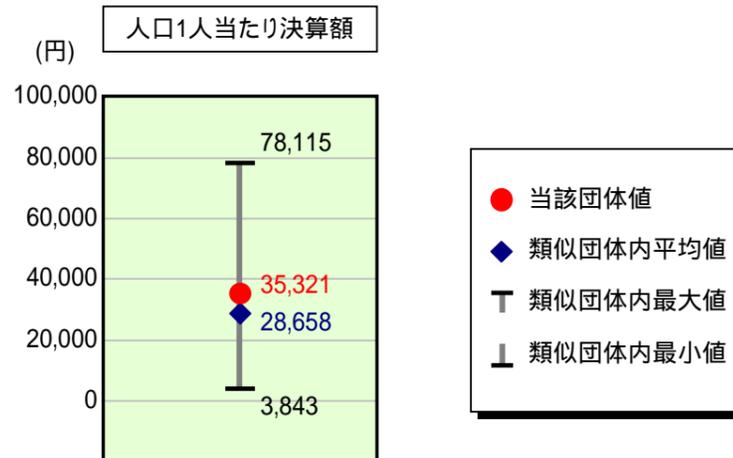
### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1,698,238	88,074	76,406	15.3
賃金(物件費)	3,362	174	5,527	96.9
一部事務組合負担金(補助費等)	184,102	9,548	12,343	22.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	563	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	26,525	1,376	3,682	62.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	-	-	1,260	-
退職金	123,945	6,428	8,719	26.3
合計	1,788,282	92,744	91,061	1.8

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.34	8.44	0.90
ラスパイレス指数	88.2	96.0	7.8

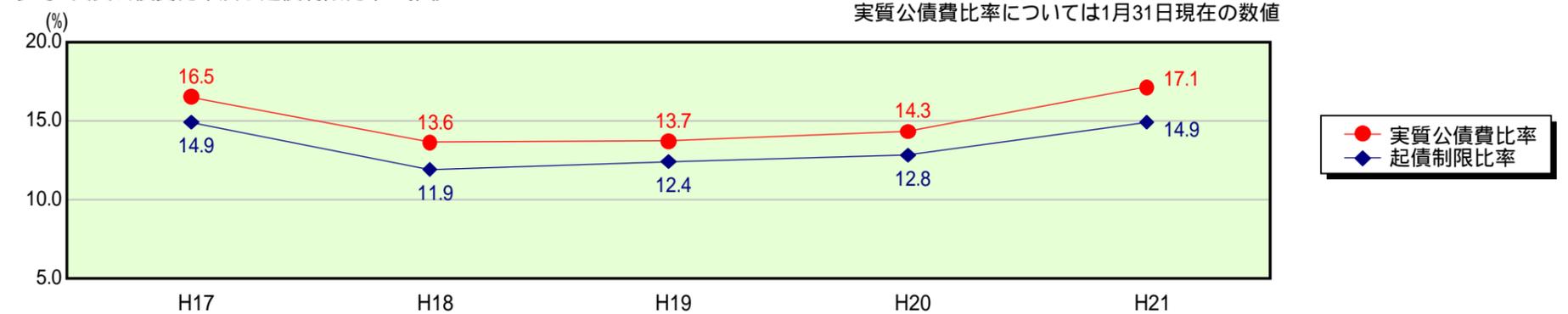
## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

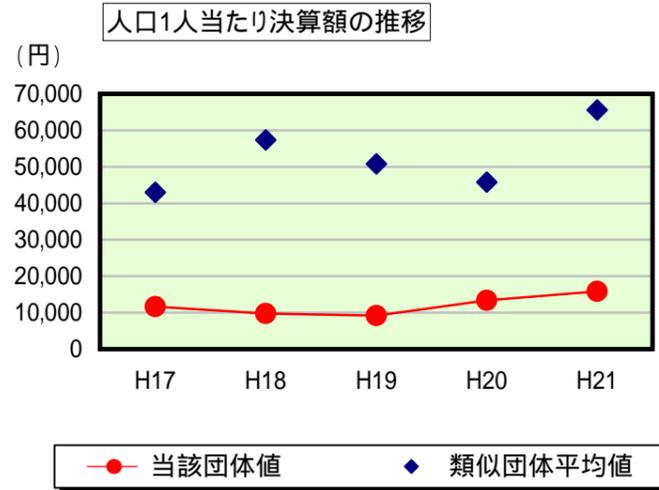
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,236,747	64,140	49,499	29.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	243,595	12,633	13,243	4.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	41,181	2,136	6,089	64.9
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	59,402	3,081	1,576	95.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	1,531	79	28	182.1
特定財源の額	43,451	2,253	3,692	39.0
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	857,937	44,494	38,086	16.8
合計	681,068	35,321	28,658	23.3

### 参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



# 歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

## 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H17	231,307	11,635	53.0	42,971	13.3	39.7
うち単独分	112,702	5,669	66.2	27,006	15.8	50.4
H18	191,838	9,728	16.4	57,400	33.6	50.0
うち単独分	142,384	7,220	27.4	34,972	29.5	2.1
H19	180,258	9,218	5.2	50,788	11.5	6.3
うち単独分	161,429	8,256	14.3	26,521	24.2	38.5
H20	259,382	13,338	44.7	45,820	9.8	54.5
うち単独分	259,382	13,338	61.6	22,743	14.2	75.8
H21	306,141	15,877	19.0	65,529	43.0	24.0
うち単独分	227,975	11,823	11.4	32,858	44.5	55.9
過去5年間平均	233,785	11,959	2.2	52,502	8.4	10.6
うち単独分	180,774	9,261	5.1	28,820	4.0	1.1